

近江のみたま

心の拠り所に

中国武漢に端を発する新型コロナウイルス（COVID-19）は、未だ収束の目途が立たず、人々の生活を脅かし続けています。今年は疫病という目に見えない脅威に対し、苦慮させられ、様々な対処が求められた年となりました。コロナ禍という前例のない状況の中ではありましたが、疫病早期鎮静祈願祭を折々に執り行い、年間の神事は粛々と齋行致しました。感染拡大予防に配慮しつつ、規模を縮小しながらも春秋季例大祭やみたま祭等の通常祭典を今年も無事齋行できたことは、偏に御英霊の御加護と御遺族崇敬者皆

様方のご協力のおかげと感謝申し上げます。 「コロナで参拝に二の足を踏んでいたが、参拝出来てよかった。御祈禱を受けて心が安らかになった」や、「夏の行事が全て中止になって子供の行き場が無かった。夕市を開催してくれてありがとう」との声を参拝者から聞いたことは、ありがたいことでした。 護國神社が多くの方々にとって、ほっと一息つける心安らぐ場所でありたいと願います。今後とも神社の護持奉齋に皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

禪毫 中野幸彦多賀大社名誉官司

滋賀縣護國神社
崇敬奉賛会

発行所

滋賀縣護國神社社務所
〒522-0001 彦根市尾末町1番59号
電話 0749(22)0822
印刷 近江印刷(株)



新年に先がけ、秋の花手水

平和への新たな道標を



滋賀縣護國神社
崇敬奉賛会
会長
河本英典

終戦から75年。コロナ禍で社会が一変し、各地の戦没者追悼式も中止や縮小が余儀なくされました。一方、戦争体験者やその遺族の高齢化が進み、各地の戦争・歴史資料館の閉鎖や海外の戦没者慰霊碑の撤去も相次いでおり、戦禍の記憶の風化が加速しています。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、英霊の尊い犠牲の上に築かれたものであることをあらためて肝に銘じ、次世代へとつなぐ平和への新たな道標をつくっていかねければなりません。平和の拠りどころである
滋賀縣護國神社並びに崇敬奉賛会に更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。



年間諸行事点景



4月5日に春季例大祭を斎行致しました。平和を祈る浦安の舞。波風の立たぬ穏やかな世の中でありますように。



8月13日～15日みたま祭を斎行致しました。元気に境内を走り回る子供たち。来年は疫病が終息しますように。



9月21日、国際連合の定める世界平和の日に合わせ、伊吹高校書道部の皆さんと書道部顧問の押谷達彦（呉壁）先生に拝殿前にて奉納揮毫を行っていただきました。「愛風」と「逆境にあつては希望」良い言葉ですね。



10月5日に秋季例大祭を斎行致しました。御遺族崇敬者の皆様が健やかで笑顔の多い生活を送れますように。

英霊顕彰館拝観者の声

●高校の時から毎日通っていたのに、三十年経ち初めて参拝させていただきました。ここに来させていただき、初めて心から戦争というものが無くなるべきだと思いました。英霊さん達のお写真を拝見し、一人の親として涙が止まりませんでした。

滋賀県 女性

●今日のご英霊の子、孫、ひ孫、玄孫と来しました。亡くなられて七十五年経ちますが、久しぶりに皆が思い出しています。安らかにお過ごし下さい。

愛知県 英霊のひ孫
二十三歳女性

●今日の平和があるのは英霊さんのおかげです。再び繰り返すことがないように見守っていて下さい。

東京都 女性

●初めて二人でご英霊にお参り致しました。感謝致します。

●家族安全に過ごせますように
今後も家族安全に過ごせますよう、お願い致します。

栗東市 遺族夫婦

●色んな人達が戦争に出ていない人も、亡くなっていることに自分もすごく悲しくなった。戦争のことについてよく知れた(勉強になった)。

彦根市 九歳女の子

●父の像、母の像、拝見しました。横にある説明を読み、戦争のつらさ、悲しさがひしひしと伝わってきました。亡くなった人達の多さに驚きました。とても勉強になりました。来てよかったです。

野洲市 十四歳中学生

●今日は私の娘、父の孫娘を連れてお参りに来しました。どうぞみんなが平穏無事に過ごせますようにお守り下さい。

彦根市 女性

●戦死したおじいさんに感謝

●戦死したおじいさんに会いました。おかげで幸せに暮らしています。英霊に感謝です。

甲賀市水口町 男性

●たまたま通りかかって参拝させていただきました。國松善次さんの護國神社に関する新聞がとても考えさせられました。国を守る為に自分の命をかけて戦った沢山の英霊の方達に本当に感謝しています。世界からこんな悲しい戦争がなくなると欲しいとも思っています。沢山の英霊の写真の中に偶然自分のひいおじいちゃんの写真を見つけてきました。こちらに来ることでできて本当に良かったです。ありがとうございます。

兵庫県 M・Oさん



来年の絵馬を制作中の田中先生



常任理事会のご報告
 今年は新型コロナウイルスによる感染拡大予防のため総会は中止し、六月二十五日に開催した常任理事会の決議を以て総会に代え、書面報告という形をとらせていただきました。常任理事会では各議案異議無く承認され、御創立百五十年に向けての積立や画家田中千野先生の吉祥絵馬を正月に拝殿前に設置すること等が承認されました。

令和元年度 事業報告

(自 平成元年6月1日～至 令和2年5月31日)

令和元年

- 6月22日 理事会・評議員会 滋賀縣護國神社
- 7月28日 総会 67名 彦根キャスルリゾート&スパ
- 9月4日 広報委員会 滋賀縣護國神社
- 10月5日 秋季例大祭 役員参列 滋賀縣護國神社
- 10月25日 崇敬奉賛会通信発行 (12,000部)
- 11月5日 大嘗祭・御神符頒布始祭並頒布式

令和2年

- 4月5日 春季例大祭 役員参列 滋賀縣護國神社

※神社奉納金 年間3回に分けて350万円を奉納

- ・危険木伐採工事代 108,540円
 いろは松通りに向かって斜めに生えていた杉の危険木を伐採。
- ・正月大絵馬の制作 50,000円
 画家田中千野先生に制作を依頼 (3年目)。
- ・拝殿前大垂幕代 48,400円
 「近江を制する者は天下を制す」の文字と、当神社所蔵井伊直憲公甲冑を配した防炎性の垂幕を制作・設置。
- ・拝殿前白川砂敷散代 50,000円
- ・特別事業への積立 100,000円
 御創立150周年特別事業に向けて積立。

年間を通じ、会員の皆様方には大変お世話になり、誠にありがとうございます。

崇敬奉賛会会員 現況

会員数 4,709名

(内 訳)	
正会員	4,360名
維持会員	149名
賛助会員	43名
特別会員	18名
終身会員	139名

令和2年10月現在

(昨年度は5,008名)

滋賀縣護國神社は今を生きる我々の幸せを願って散華された、滋賀県出身の殉国の「みたま」をお祀りする神社です。未永く「みたま」をお祀りするために崇敬奉賛会へ、ご加入戴きますよう何卒宜しく願い申し上げます。

※ご入会を希望される方は、地元遺族会役員又は直接護國神社へ申し出ください。

申込書

※ご希望の所に☑を入れてください

- 正会員…年額 金 1,000円
- 維持会員…年額 金 3,000円
- 賛助会員…年額 金 5,000円
- 特別会員…年額 金 10,000円
- 終身会員…一時 金 100,000円

〒	
ご住所	_____
電話番号	_____
お名前	_____

〒522-0001 彦根市尾末町 1-59
 滋賀縣護國神社・崇敬奉賛会 ☎0749-22-0822